



矢野 邦夫 先生
 浜松市感染症対策調整監
 浜松医療センター感染症管理特別顧問

'81年名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、'89年フレッドハッチンソン癌研究所、'93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）。'96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床・エイズトレーニングセンター臨床研修了。'97年 感染症内科長／衛生管理室長、'08年 副院長、'20年 院長補佐、'21年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索

株式会社メディコン

COVID-19ワクチンについてのQ&A (接種の方法とタイミング)

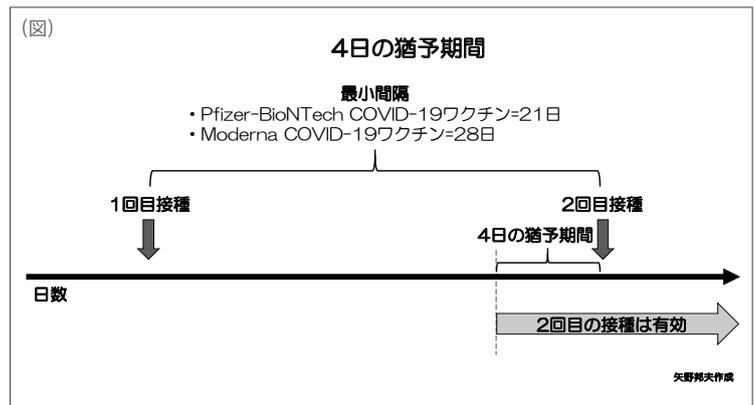
CDCがCOVID-19ワクチン（mRNAワクチン）についてのQ&Aを提示している。その中から「接種の方法とタイミング」の部分を選挙して紹介する（1）。

■ COVID-19ワクチンを筋肉注射する場合、薬剤を注入する前にシリンジを吸引すべきか？

吸引すべきではない。如何なるワクチン（COVID-19ワクチンを含む）であっても、薬剤を注入する前にシリンジを吸引してはならない。吸引は、組織内でのより長い針滞留時間と針の剪断作用（小刻みに動く）の複合効果によって、痛みを増大させる可能性がある。

■ 「4日間の猶予期間」とは何か？「4日間の猶予期間」はCOVID-19ワクチンにも適用できるか？

「4日間の猶予期間（4-day grace period）」は、予防接種が有効であると見なすことができる最小間隔の前の4日間のことである（図）。記録を遡及的に検討する場合に、投与の有効性を判断することを目的として猶予期間を使用する。猶予期間を接種のスケジュールに使用すべきではない。COVID-19ワクチンの最小間隔は、推奨間隔（Pfizer-BioNTech COVID-19ワクチンは21日、Moderna COVID-19ワクチンは28日）と同じである。記録を遡及的に検討する場合、これは次のことを意味する。



- 1回目の接種から17日以上後に投与されたPfizer-BioNTech COVID-19ワクチンの2回目の接種は有効と見なされる。
- 1回目の接種から24日以上後に投与されたModerna COVID-19ワクチンの2回目の接種は有効と見なされる。

ただし、「4日間の猶予期間」より前に誤って接種されたとしても、再接種する必要はない。

■2回目接種をスケジュールするときは、何を考慮すべきか？

2回目接種をスケジュールするときは、最初に推奨間隔を考慮する。この間隔の前に接種をスケジュールするべきではない。そして、次のことも検討すべきである。

- 他のワクチン接種のタイミング：COVID-19ワクチンは、他のワクチンの接種の前後14日以上の間隔で、通常は単独で接種する。
- 現在のSARS-CoV-2感染または曝露：現在のSARS-CoV-2感染が判明している人へのワクチン接種は、急性疾患から回復し（症状があった場合）、隔離終了の基準が満たされるまで延期する。この推奨は1回目の接種後で、2回目を接種する前にSARS-CoV-2感染症を発症した人にも適用される。
- COVID-19治療のためのモノクローナル抗体または回復期血漿の投与：ワクチンによる免疫応答に対する抗体治療の干渉を避けるために、追加情報が入手されるまでの予防措置として、ワクチン接種前に抗体療法を受けた人では、ワクチン接種を少なくとも90日間延期する。この推奨は、1回目の接種後で2回目の前に抗体療法を受けた人にも適用される。この場合、2回目の接種は抗体療法後少なくとも90日間延期する必要がある。

■創部治療として、破傷風トキソイドが必要であるが、11日前にCOVID-19ワクチンが接種されている患者がいる。

破傷風トキソイドを接種してもよいか？

接種してもよい。通常、COVID-19ワクチンは、他のワクチンの接種の前後に最低14日間の間隔を空けて、単独で接種する。しかし、COVID-19およびその他のワクチンは、「ワクチン接種の利点がワクチン同時接種の潜在的な未知のリスクを上回ると考えられる状況（例えば、創傷治療の一部としての破傷風トキソイド含有ワクチンの接種、アウトブレイク中の麻疹ワクチンやA型肝炎ワクチンの接種）」または「COVID-19ワクチン接種を妨げるか、接種の遅延を回避する状況（例えば、入院または入所前/入院または入所時にインフルエンザまたは他のワクチン接種を受けた長期ケア施設の居住者または医療従事者）」では、短い期間で接種される場合がある。COVID-19ワクチンが別のワクチンから14日以内に接種された場合、どちらのワクチンについても、再接種する必要はない。

■COVID-19ワクチンと同時に、インフルエンザワクチンなどの他のワクチンを接種してもよいか？

接種してはならない。他のワクチンと同時に投与されるCOVID-19ワクチンの安全性と有効性に関するデータが不足しているため、他のワクチンの接種の前後14日以上の間隔で単独で接種する必要がある。COVID-19ワクチンが別のワクチンから14日以内に誤って接種された場合、どちらのワクチンについても、再接種する必要はない。

■10日前にインフルエンザワクチンを接種した患者にCOVID-19ワクチンを接種してもよいか？

COVID-19ワクチンを接種する場合、他のワクチンの投与の前後には、最低14日間の間隔が必要である。この14日間に別のワクチンの唯一の接種機会が発生し、今後、その患者に接種できることが期待できない場合は、接種することができる。しかし、COVID-19ワクチンが別のワクチン接種から14日以内に接種された場合は、どちらのワクチンも再接種する必要はない。

[文献]

- (1) CDC. COVID-19 vaccine FAQs for healthcare professionals
<https://www.cdc.gov/vaccines/covid-19/hcp/faq.html>

こちらも公開しています。

メディコン CDCガイドライン 

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

